

「実践者の声」…アンケートの結果より

単元シートを作成することで指導目標を意識するようになり、A層やC層の生徒への手だてについて効果的であった。

授業シートを作成するに当たり、生徒に考えさせる場を検討することで、発問や板書の工夫をすることができた。

授業シートを書くことで、授業にメリハリが出て、次時につながる振り返りができるようになった。

毎時間の内容を考えながら単元シートを作成することで、毎時間の指導目標が明確になり、教材を用いるタイミングや内容を検討する時間ができた。

教科の特性を生かした授業シートづくりに取り組んでいきたい。

授業シートを作成することで、A層とC層に対する手だてをワークシートに反映させることができた。

授業シート作成において、教科によっては、A層、C層それぞれの手だてを書くと共に、生徒の実態を書き込むと次年度以降役立てられると思う。

【研究に協力していただいた先生方】

福岡県立光陵高等学校

教諭 船津 由紀信
教諭 牛丸 芽久美
教諭 慶田 喜彦
教諭 三池 司郎

教諭 國貞 雅嗣
教諭 青木 俊一
教諭 福田 陽子

福岡県立筑紫高等学校

教諭 山崎 尚美
教諭 石兼 真理子
教諭 細谷 明子

教諭 内田 真司
教諭 松田 真由子